

審議会等の会議の概要の記録

会 議 の 名 称	令和6年度第1回甲州市都市計画審議会
開 催 日 時	令和7年1月20日 14時30分 ～ 16時30分
開 催 場 所	甲州市役所本庁舎2階 第1会議室
議 題	・ 峡東都市計画 道路の変更について
出 席 委 員	岡村美好、飯野照久、雨宮正明、上矢敏彦、平塚悟、山下宏、荻原雄司
会議の公開又は非公開の区分	公開
会議を一部公開又は非公開とした場合の理由	－
傍 聴 人 の 数	0人
審 議 概 要	報告事項及び議事 議事録は別紙のとおり。
事務局に係る事項	建設課 都市計画・まちづくり担当 出席者 6名 連絡先：0553-32-5072
そ の 他	無し

① 開会

② 委嘱状交付

③ 市長あいさつ

④ 会長選出

⑤ 諮問

⑥ 委員自己紹介及び事務局紹介

⑦ 傍聴希望者入室

傍聴者なし

⑧ 議事

峡東都市計画道路の変更について

- ・都市計画の見直しの経緯
- ・都市計画道路の廃止区間について
 - 3・5・6 下塩後牛奥線の一部
 - 3・4・3 上於曽本町菅田線全線
 - 3・5・2 上於曽向岳寺線の一部
- ・都市計画道路のルート等の変更について
 - 3・4・1 塩山駅下於曽線
 - 3・5・6 下塩後牛奥線（上塩後下赤尾線）
- ・都市計画の変更に係る合意形成の状況について

委員：塩山駅下於曽線と既存の上於曽駅前赤尾線との交差点について、道路管理者協議と交通管理者協議が必要と考える。

事務局：峡東建設事務所において道路管理者及び交通管理者協議を実施していただいている。実施設計において今後決定していく。

委員：塩山駅南口ロータリーと塩山駅下於曽線との接続により、今後塩山駅南口ロータリーのレイアウトの変更も生じることとなるか。

事務局：今後の実施設計によって検討する。

委員：県道白井甲州線が塩山駅下於曽線及び上塩後下赤尾線と付け替わることで、屈曲してもネットワーク上問題ないか。

事務局：問題ないと考えている。

委員：上塩後下赤尾線の整備済区間と、今後整備する区間で幅員が異なるが。十字交差点部分の改良計画があるか。

事務局：交差点部分は考慮している。

委員：計画の「廃止」というと、今後行政側で一切整備をしないという意味に捉えられる。要望であるが、住民に理解していただくのが難しいため、丁寧な説明をお願いしたい。

委員：廃止区間についての都市計画法による建築制限を受けて建築された物件を把握しているか。

事務局：申請による件数を把握しており、対象者に対しては戸別訪問により理解を得ている。

委員：要望であるが、上於曽向岳寺線の未着手区間について、今後の方針を地元へ説明をお願いしたい。

事務局：既に新聞報道もなされたが、未着手区間の近傍に接続される西関東連絡道路の岩手ランプからのアクセス道路のルートを今後検討する中で決定していくこととなり、進展に伴い地元へ説明を行う。
山梨県とも今後都市計画決定を行っていくことを共通認識としている。

委員：塩山駅北側地域においては、西関東連絡道路とのアクセスは重要な問題として、地域の中で関心も高い。

委員：都市計画道路の廃止について、昨年7月に説明会を実施しているが、要望として、対象地域の区長会への訪問等、丁寧な対応が必要であると思う。

事務局：今回の廃止の目的は、都市計画施設としての位置付けを外すことです。将来、地域の機運が高まれば、道路事業として進めることも考えられる。区長と協議等を通じ、丁寧な対応を行っていく。

委員：塩山駅下於曽線は、都市計画決定から相当な年数が経過しているが、事業化を目指すきっかけは何かあったか。

事務局：今般山梨県に対し要望をさせていただいたところ、協力が得られたことで、事業化に向けて進むことができた。
道路の建設は、将来のまちを見据えたものである。次の世代にさらに発展する可能性のあるまちとして後世に残していくことが重要だと認識している。

委員：そのような将来のまちの展望を一緒に説明することが必要だと思われる。

委員：農地が道路用地になり、農業従事者が減ることに対して懸念はあるが、計画道

路の事業が早期に進むよう推進してもらいたい。

委員：息の長い事業であるので完成に向けて着実に進めてほしい。

委員：単に道路を建設する、ということではなく、「何のために建設するのか」などを魅力としてアピールすることも必要だと思う。

委員：ＪＲの特急の始発時間が早まり、二拠点生活の可能性も高まるなかで、駅周辺整備が重要になってくると思う。

委員：東バイパスに商業店舗の立地が少ない。人口を増やすには商業施設などの立地が必要であるが、包蔵地が多く課題である。立地に対するハードルが下がれば良いと思う。

事務局：今年度、立地適正化計画を策定中であり、生活利便施設の立地誘導についても検討している。
生活利便の向上を考えながら都市計画道路事業を推進したいと考えている。

委員：道路ネットワークを生かしたまちづくりなど、将来的な展望を示した方が理解を得られやすいのではないかな。

委員：地域の魅力を見つけてもらうには、血管である道路とセットでアピールしていく必要があると思う。農業や商業についても触れ、市としての施策を打ち出していきたい。

会長：それでは、都市計画道路の廃止を含めた変更について、本審議会として了承ということで良いかな。

委員：異議なし。

——— 議事終了 ———

〔 9 〕 傍聴希望者退室
傍聴者なし

〔 10 〕 その他
・ 第2回審議会 開催連絡

〔 11 〕 閉会

16：30終了
(以上)